

# 令和元年度事業報告書

## 1. 令和元年度事業報告

当会が平成31年4月から令和2年3月までに実施した事業についてご報告いたします。潤いのある地域環境づくりに向けて、一般市民や行政の方々と共に、桜の名所づくりや花のまちづくりなどの事業を展開いたしました。

### (1) 桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進

#### 1) 桜の名所づくり

##### ～桜苗木の生産と配布～

桜を中心とした、美しく潤いのある地域環境づくりの推進を目的に、桜苗木の生産と配布を継続実施し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めました。特に桜苗木の配布に当っては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持・管理体制が明確化されているか、などについて確認した上で実施しました。

##### ～さくらコンシェルジュ～

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため、当会研究員を計画的に現地へ派遣しました。福島県福島市、埼玉県久喜市、千葉県鋸南町において、桜の名所の創成、育成、再生・保全を目的として、住民団体の皆さんと共に活動を展開しました。

##### ～桜を通じた災害復興支援～

桜を通じた災害復興支援は9年目となりました。今年度は、宮城県や福島県などに接木1年生苗木635本をお届けしました。これにより被災地にお届けした桜の苗木は累計で6,415本となりました。

宮城県名取市では、津波に耐えて花を咲かせた桜から接木した後継樹を名取川河口の貞山運河に植樹し、鎮魂と振興の名所にする計画を進めています。当会は東日本大震災の直後から苗木育成指導を実施してきましたが、震災9年目となった今春、復興した運河沿いに苗木173本を植樹できました。

宮城県女川町では、「倒壊したままの建物を見せて、津波の恐ろしさを伝える」ことに意義があるとして、鉄筋2階建ての崩壊した旧交番を中心にメモリアル公園を整

備しました。今年3月、この公園で当会が接木育苗した津波桜の子孫の記念植樹において、当会職員が住民約80名に技術指導を実施しました。

岩手県久慈市では、東日本大震災の復興支援に対する感謝を形にしようと、久慈港環境美化協会が半崎緑地公園に当会が寄贈した苗木‘神代曙’20本を植樹しました。震災から10年となる来年と合わせて計100本を植える計画で、今年度はテスト植樹の位置づけでした。

## 2) 花のまちづくり

花や緑を活かした地域環境づくりに関する委託を受けて、地域の美しい環境づくりへの提言を行いました。

山口県上関町では、「花咲く海の町・上関」推進委託事業を継続して受託しました。高齢化が進む地元住民には多年草の活用や地区花壇の管理運営方法を指導し、花壇用の花苗を生産する地元の委託農家への技術指導や、公園に植樹した河津桜やスイセン等の育成管理指導を実施しました。

## (2) 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催

### 1) 講師派遣

地方自治体や住民団体等が開催する桜の講習会や勉強会に研究員を講師として積極的に派遣しました。

桜に関する講演では、NPO かわさき市民アカデミー（川崎市）、さくらファンクラブ（熊谷市）、景観形成市民の会（茨城県）、OCB会（群馬県）など、延べ60回・2,039人を対象に桜の管理・保全方法や、病虫害対策、整枝剪定、施肥などについて指導を行いました。

また、花のまちづくりに関する講演会や勉強会にも研究員を派遣して普及啓発を図りました。熱海市公園緑地課（静岡県）、花と緑の銀行（富山県）、うらやす市民大学（千葉県）、文京区（東京都）など、延べ15回・559人を対象に花壇づくりや花のまちづくりについて講義を行いました。

### 2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

#### ～サクラ保全管理講座の開催～

桜の樹勢回復の方法や病虫害対策などの技術的・科学的分野と、桜に関する文化的・社会的な分野についての講座を「第17回サクラ保全管理講座」として11月26日に大阪府大阪市にある国民會館で開催しました。

今年度は、「桜の図譜の見方と楽しみ方」を（公財）園芸文化協会会長：小笠原左

衛門尉亮軒氏に、「桜の銘木の組織培養における種の保存とそれを活用した事業展開」を住友林業（株）森林・緑化センター長：中村健太郎氏に、そして「地元の樹木医から見たクマノザクラの発見・調査・そして未来」を樹木医甚兵衛：矢倉寛之氏にそれぞれ講義していただきました。

会場には関西を中心に集まった樹木医や桜の保全活動を進める住民団体の代表など 82 名が参加して活発な質疑応答が行われました。

#### ～全国さくらシンポジウムの開催～

第 38 回全国さくらシンポジウムを 4 月 11、12 日に福島県二本松市で開催しました。会場の二本松市民会館には、地元住民や全国各地から集まった桜愛好家など約 700 名の入場者で満席となりました。

開会挨拶のあと、地元の玄侑宗久氏による「桜～無常とあはれの花～」と題した記念講演があり、その後、「～ほんとの空にさくら舞う～桜の郷二本松を目指して」をテーマとしたパネルディスカッションが開催されました。地元の 3 団体の代表者がパネリストとして発言し、市内にある多数の一本桜を次世代に引き継ぐため、行政と市民が協働で保存活動を推進することの重要性や方法論などを議論しました。

翌日の現地見学会では 162 名の参加者が前夜からの雪で一面雪化粧となった 霞ヶ城公園や合戦場の枝垂れ桜など、地元の桜の名所を見学して廻りました。

#### ～「学び舎の桜を救おう！」プロジェクト～

学校の校庭に植栽されている桜に興味関心を持ってもらい、樹勢の衰えた桜を助ける活動や授業を継続して実施しました。

2015 年から実施している栃木県立小山北桜高等学校では、小山市思川桜里親協議会の「思川」育苗活動の一環として、挿し木増殖した桜を高校で植栽しています。2 年生には挿し木苗の植栽を、3 年生には整枝・剪定を指導しました。育成苗と使用苗のスケジュール管理や残渣木の処分が今後の課題として残りました。

茨城県の日立市立助川小学校では、1 月に日立市さくら課と当会が授業者となって、4 年生 2 組を対象に 1 時間の桜授業を実施しました。学習指導の目的は「サクラについて知ろう」と明確にして、学校や市職員との協働で学習方法をきめ細かく策定して実施しました。

### 3) 花のまちづくりの普及啓発

#### ～全国花のまちづくりコンクールの実施～

「第 29 回全国花のまちづくりコンクール」の事務局として、コンクールの質的充実を図ると同時に効率的な運営に努めました。

今回の応募総数は 1,543 件で、大臣賞を始め 81 件が表彰されました。受賞者は、花のまちづくり大賞の農林水産大臣賞に特定非営利活動法人渋川広域ものづくり協議会（群馬県渋川市）と富士市花の会（静岡県富士市）、国土交通大臣賞にはアドプト・ロード・万博北（大阪府茨木市）とサンセット一宮花仲間（兵庫県淡路市）、今年度より新設された文部科学大臣賞には長岡市立桂小学校（新潟県長岡市）がそれぞれ選出されました。

また優秀賞には花の仲間たち（福岡県福岡市）など 9 件が、奨励賞には益田満智子（静岡県吉田町）など 11 件が選ばれました。さらに入選が 52 件、努力賞が 4 件選出されています。

表彰式は 10 月 24 日に東京都千代田区の東海大学校友会館で行われました。受賞者を含めて 95 名の方が参加し、農林水産省大臣官房生産振興審議官の鈴木良典様と国土交通省大臣官房審議官の長井俊彦様より大臣賞が授与されたほか、優秀賞、奨励賞などの受賞者もそれぞれ表彰されました。

#### ～花のまちづくり優秀事例発表会の開催～

10 月 23 日に東京都千代田区の日比谷図書文化館において、第 29 回全国花のまちづくりコンクールで大臣賞を受賞された皆さんに、日頃の活動内容について写真や動画を交えて発表していただきました。

花のまちづくりスキルアップ講座では、ガーデンデザイナーである有限会社ホリーホックガーデン代表取締役：奥 峰子氏から「魅力ある花壇づくり」をテーマとしたご講演をいただきました。

#### ～全国花のまちづくり南砺大会の開催～

地方での花のまちづくりの普及啓発を目的とした全国花のまちづくり地方大会を 7 月 6 日～7 日に富山県南砺市で開催しました。地方大会としては 25 回目であり、富山県では 2 回目の開催となります。

大会テーマは「なんと 幸せのおすそわけ」。2017 年全国花のまちづくりコンクールで大賞を受賞した山崎久雄氏（富山県朝日町）と主催自治体である地元の南砺市が事例発表しました。

会場の福野文化創造センター ヘリオスには約 500 名が入場し、事例発表を熱心に聴講しました。また、奇跡の星の植物館（兵庫県淡路島）プロジェクター：辻本智子

氏の特別講演では、地域性と伝統を継承する花のまちづくりについて、貴重な提言を数多く頂きました。翌日の現地見学会では、「花と緑のフェスティバル」を開催している園芸植物園でスプレー菊栽培を、世界遺産の菅沼合掌集落で花飾りを見学し、I O Xアローザ「あじさい祭り」では参加者同士で意見交換をするなど、非常に有意義な見学会となりました。

#### ～「こまつの杜」(石川県小松市)での花育～

石川県小松市にある「こまつの杜」において、コマツ OB/OG で結成された NPO 法人みどりのこまつスクスク会の皆さんや、「わくわくコマツ館」のスタッフと一緒に、小松市内の白嶺幼稚園と大和こども園の園児計約 90 名を対象に花育を実施しました。

2015 年度から開始した花育も 5 年目となりました。研究員の指導の下、園児たちにコマツの OB/OG の皆さんがお手伝いする形で、種まきから鉢上げ、花壇づくりなどを一緒に実施しました。また 3 月にはコマツのスタッフが作成して贈呈したコサージュを胸に飾って園児たちは晴れの卒園式を迎えました。

#### 4) 屋上緑化

都市部のヒートアイランド現象の緩和策として注目されているビル屋上の緑化について、コマツビル屋上庭園の維持管理と一般公開を継続して実施しました。また屋上緑化の先進事例として情報発信と普及啓発に努めました。2018 年度の入場者数は昨年度より 14 名少ない 386 名でした。

### (3) 桜の品種特性や樹勢回復についての研究、組織培養による苗木生産の研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

#### 1) 自主研究事業

##### ～桜の品種特性に関する調査研究～

桜見本園で収集保存している桜の花の形状など、品種特性の画像データ化とその蓄積を進めました。

##### ～桜の樹勢回復に関する試験研究～

結城農場の桜見本園の桜について、樹勢回復に関する試験研究を継続し、全国各地の桜の保全についての技術力を高めました。

##### ～組織培養による桜苗木生産に関する試験研究～

接木生産に代わる技術として組織培養（メリクロン）を活用し、本年度は北海道の寒冷地向け桜苗木生産の研究に特化した結果、釧路八重の初代培養に成功しました。

## 2) 受託研究事業

～桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導～

桜の樹勢回復に関する事業の委託を自治体等から受けて調査研究を行い、病害虫の駆除や枯れ枝の剪定、施肥など、桜老齡樹の樹勢回復の指導と提言を行いました。

- ・ 日立市（茨城県）……………市内の桜樹勢調査
- ・ 幸手市（埼玉県）……………権現堂堤の桜樹勢回復
- ・ 須坂市（長野県）……………臥竜公園の桜樹勢回復

## 会員活動の支援について

全国 28 ヶ所の地方会員組織のメンバーは、桜の名所づくりや桜の保護活動、花のまちづくり活動などを積極的に行っています。当会研究員が各地に赴き技術的なサポートを行っただけでなく、7月2、3日には全国から17団体27名の会員に集ってもらい、活動報告と情報交換を実施して交流を深めました。

期末会員数（令和2年3月31日現在）

法人会員：272      個人会員：1,574      合計：1,846

以上